

技アリ!

いわての仕事録



- 1 工場内。1人で完了する業務や午前中のみで終了する業務もあるため、組立ラインは自在に対応できるようにレイアウトされている。立って作業するのも作業効率を考えてのことだ。
- 2 社員の平均年齢は35～36歳だが、前職から20年近くの職歴を持つ人多数。「出来ないという前にやる方法を考える」という城内社長の教えも浸透している。
- 4 検査装置ははじめ生産管理システムなども自社で設計。
- 5 自社開発の生産管理システムでラインの稼働状況を管理。納期の実現を徹底。
- 6 久慈市長内町に立つ本社工場。ほか待浜工場(在庫管理用)と仙台支店を置く。
- 7 光触媒機能を持つ造花も製造。見本品を分解、設備の検討と工程表、図面を作成し、4000個を生産した。
- 8 水を薬剤の反応で酸素を発生させる「オーツーフレスト」。防災や緊急時などへの用途も期待できる。

【支援企業紹介】久慈市 株式会社ジュークス

久慈市にある株式会社ジュークスは「メーカーの『困った』に対応する」をモットーにあらゆる製造分野に取り組んでいる。業界に吹く逆風のなか挑戦を続ける城内治社長に、思いと戦略を伺った。

【いわて産業振興センター活用事例】
平成22年「いわて希望ファンド」を利用して携帯用酸素発生器を開発。「今後は県内工場の稼働状況や業務幹線などの情報提供のレベル向上にも期待したい」と城内社長

久慈のものづくり文化を守れ! リーマン・ショック直後に起業

戦後日本の発展をあらゆる角度から支え、世界市場においてはその品質や性能を高く評価されてきた日本の工業製品。生産工場の海外移転が加速する現在ですら、「Made in Japan」——日本のものづくりは、海外からの絶大な信頼を獲得している。

「この技術が流出すれば、資源の乏しい日本は立ち行かなくなる。大事なものは、日本のものづくりの技術と感性を若い世代に伝えること。製造業の灯を消したくないんです」。

そう語る城内治社長は、リーマン・ショック直後の平成21年、郷里の久慈

で起業した。経営する株式会社ジュークスは携帯電話のモックアップ(店頭見本)組立から携帯電話の完成品組立・検査など、電子機器製造分野を中心に事業を展開。また、2年前から太陽光発電システムの販売・施工も手がける。社歴こそ6年と短い社員には国内外の大手メーカーの製品製造に関わった経験者が多く、取引先からの信頼は厚い。「以前からどんな人とも同じ『目線』で向き合ってきました。だから人に恵まれ、ここまで来れたと思う」。

中堅の電子機器メーカーに24年在籍し、自社商品開発をきっかけに中国駐在も経験した城内社長。現地で目の当たりにした圧倒的な生産力への危機感

は、リーマン・ショックを契機に具現化する。「久慈の職安は仕事を求める人で溢れ、多くの知人に助けを請われました」。地域の雇用を守り、製造技術を残すためには自分が立ち上がるしかない。城内社長の決意に行政は支援に動き、メーカー時代の部下たちが結集した。長年培ってきた人脈の賜物だった。

あえて得意分野を持たない戦略 自社商品開発で未来も見据える

創業時から手がける携帯電話のモックアップは、非常に難しい製品だ。情報流出を防ぐため、メーカーが図面を出すのは発売の数ヶ月前。ギリギリの納期で部品を調達し、かつ高品質と

低コストの要求にも応えねばならない。だがそこに、城内社長は「勝機」を見出した。「納期や品質、コストが厳しい小ロットや初期流動品などの海外生産は無理。こういう仕事こそ国内で残っていく」と。

難しい仕事への挑戦は同社の技術を高め、携帯電話やカーナビはじめ生産品目は拡大。驚くことに造花の生産を受注したこともある。「基準はうちの技術で出来るかどうかで、ひとつの分野には縛られません」と城内社長。ある経営コンサルタントが「製造工場の『よろずや』」と評したというも納得である。他社には真似のできない取り組みだが、それが出来るのは城内社長が日本製造業の可能性を信じてい

るからだ。「日本では作業者の『感性』も製品に入る。それがものづくりの原点であり、素晴らしいこと」。

平成22年には高地旅行者などを想定し携帯用酸素発生器を開発、翌年「いわて希望ファンド」に採択された。さらに今年から岩手大学工学部とエネルギー関係の材料開発に着手。「これまでの路線は堅持しつつコア技術を開発、自社商品を作っていく。目先も将来のことも見ていかなくては、生き残れない」。城内社長の目には、「その先」が見えているのだ。

日本のものづくりを支え、地元の雇用をも支える。地域の工場に課せられた『役目』を果たすため、同社の挑戦は続く。

レスポンスとフットワークで「距離」を縮める

首都圏との距離のハンデを解消するのは、スピードと対応力。顧客からの問いにはすぐレスポンスを返し、緊急性が高いと、担当者の判断(即)で直接伺う。こうしたきめ細やかな対応で、月商20万円の仕事が最終的には1億8000万円まで伸びた取引先もあります。実績を積み重ねていくことが重要です。そして、実現するための努力を惜しまないことが重要だと思います。製造品目にとらわれず、お困りの際は気軽にご相談いただきたいですね。

技アリ!ポイント

企業データ	会社名	株式会社ジュークス	創業	平成21年(2009)3月
	本社	久慈市長内町32-18-2	従業員	72名
	電話	0194-61-1977	業種	電子部品、製品組立・検査等
	代表者	城内治	URL	http://jukes-k.co.jp/

「役目」はひとつ。ものづくりで雇用を守る



代表取締役社長 城内治